

2025 年度 瑞法会入室試験問題

瑞法会入室試験特設サイト内の「2025 年度 1次試験注意事項」をよく読んで上で解答すること。

【1 問目】

近年、インターネットにおける誹謗中傷は社会問題となっています。

その要因の一つとして、個人が気軽に発信できる場が増えたことがあると考えられています。

・設問 1

誹謗中傷を防ぐために、誹謗中傷が散見されると言われているヤフーニュースのコメント欄

(参考:<https://www.itmedia.co.jp/news/articles/1509/03/news124.html>)は廃止すべきと考えるか否か、あなたの意見を書きなさい。

なお、回答に当たっては、あなたの意見と、あなたの意見とは異なる意見を指摘した上で、それに対する反論を明示しなさい。

また、記事をヤフーニュースに掲載するメディア、ヤフーニュースを運営する LINE ヤフー社、ニュースを閲覧する人、コメントを投稿する人、誹謗中傷の被害者のそれぞれの立場を加味して回答しなさい。

・設問 2

ヤフーニュースのコメント欄における誹謗中傷を防ぐためにどのような対策が有効と考えるか、その対策を実施することにより生じるデメリットを極力なくするために考えられる方法にも触れつつあなたの考えを書きなさい。

なお、すでに LINE ヤフー社が対策を実施していると公表しているもの(<https://news.yahoo.co.jp/info/comment-policy>)以外で回答しなさい。

※字数制限はありません

【2 問目】

大学では少人数で特定のテーマについて主体的に意見を出し合って専門的知識を深める学習方法であるゼミナール形式での学習方法（以下、「ゼミ学習」とする。〈会話〉、〈設問〉中も同様。）が行われることがある。カリキュラムの一環として位置付けられることや、気の合う友人と自主的に題材を設定してゼミ学習を行うこともある。

以下の、大学 1 年生の A～C による資格試験に対する学習方法についての〈会話〉を踏まえて、独りで書籍等の教材を用いて行う学習（以下、「独習」とする。）とは異なるゼミ学習の意義について考えた上で、以下の〈設問〉(1)～(3)に答えなさい。各設問はそれぞれ独立しており、相互に関連づけて回答することを要求するものではない。

〈会話〉

【A さん】今日の講義もう終わりか。大学で講義を受けるのも慣れてきたなあ。

【B さん】A さんはよく勉強しているね。資格試験早期合格のためにどんどん先の学習までしているんだよね。独りで教科書を読み進めていくのは難しくないかな。

【A さん】最近は資格試験の予備校等を中心に平易な文章で書かれた教科書類もたくさんあるし、インターネットで少し検索すれば試験の過去問や関連する問題、それに対する参考答案もたくさん出てくるよ。独りで教科書の内容も理解できるし、論述式試験の問題もかなり解き進めているんだ。

【C さん】なるほど。A さんは独習で資格試験に挑戦するんだね。最近は初学者でも勉強を始めやすく資格試験を受けるハードルが下がっている気がするよね。

【A さん】そう。独習する環境は十分整っているんだからそれで十分だよ。それに、学問的な研究活動とは違って、資格試験にはそれを実施する機関が想定する答えがあって、その答えをしっかりと覚えていけば何が出題されても対応できるはずだよ。

【B さん】私はあまりそうは思わないかな。資格試験といってもその背景には学問があるのだから、本来は答えはない。特に論述式の試験ではそれが顕著だよ。ある程度共通の見解がある論点もあるだろうけど、多くの論点については複数の考え方を理解しておいて使い分ける必要があると思うんだ。それに、学習する上で自分の勘違い・記憶違いやインターネットなどの情報に含まれる誤りを修正する機会も必要だと思う。

そのためには、ゼミ学習が不可欠だよ。私は自主的に友人と集まって複数の教科書それぞれの立場に立って討論したり、論述式試験の問題について各人が解いた答案に意見を言い合ったりしているんだ。

【C さん】B さんはゼミ学習を中心に勉強を進めているんだね。

資格試験の出題に関しては、B さんの意見もよくわかるよ。確かに答えを暗記してそれを元に答えればいいものもあるけれど、必ずしも一定の答えがあるわけではなくて、自分なりの考えを筋道立てて適切に論じるのがポイントになる出題もある。暗記だけじゃなく、その場で答えを考え出す力を試す問題もあるらしいんだ。

【B さん】そうだよね。私は資格試験には学習の質が重要だと思っているから、一日に進む量は少ないけれど仲間と分野ごとに時間をかけて勉強しているんだ。初めて見るような問題にも対応する力を身につけるには基礎的な考え方をじっくりと身につける必要がある。しかもゼミ学習のメンバーでノルマを設けて計画的に進めているから、自分独りでは乱れがちな学習ペースも維持しやすいよ。

【A さん】私は自分で計画に修正を加えながら勉強のペースを管理できるし、他人と合わせていては効率が悪いと思う。資格試験を合格するために最も重要なのは効率だよ。結局、求められた水準をクリアしてさえいれば中身なんて二の次なんだから。

仮にゼミ学習のメンバーが難しい問題を持ち寄ったところで、みんなで理解が不十分なことを確認するだけで終わってしまって、そこから理解を深めていくことなんてできやしないよ。メンバーやゼミ学習の進行次第では、(ア)人間関係が拗れてしまい、それに悩んで時間を消費してしまうかもしれない。そうすると時間の無駄なんじゃないかな。

【B さん】確かに、あまりに難解なテーマだとそうになってしまうこともあるかもしれない。実際、使用した教材があまりに難しかったので事前準備を怠ったメンバーがいて議論が進まず、仲違いしたこともあったと先輩から聞いたこともある。

でも、メンバーにあった適切な題材を選んで事前準備を怠らなければ、基本的には充実した議論ができると思う。それに、人と関わるからこそ勉強のモチベーションが出てくる場合だってあるよ。

【C さん】一口にゼミ学習といっても、メンバーやその形式、扱う内容等その在り方は様々だよ。きっと(イ)それによって、学習効果は異なってくるんだろうね。私は独習とゼミ学習をしっかりと使い分けて資格試験に向けて勉強を進めていかなければならないと思ったよ。

〈設問〉

(1) A、B は全体を通じてそれぞれどのような主張を述べているか、いくつかの観点ごとの両者の考えを対比させつつ簡潔にまとめなさい。なお、C の主張についてはまとめなくてよい。

(2) 下線部 (ア) に関連して、あなたの過去の経験を振り返り、グループ活動で「人間関係が拗れ」た経験について、具体的かつ簡潔にその出来事を説明しなさい。次に、そのような問題を解決するために効果的な方法について、具体的な経験に基づいてあなたの考えを論じなさい。

(3) 下線部 (イ) に関連して、資格試験に向けた学習において「独習」よりも大きな学習効果を見込める「ゼミ学習」があるとすればそれはどのようなものか。そのような「ゼミ学習」の実現に必要な具体的な要素とその要素が必要な理由を挙げつつ、反対意見を踏まえながらあなたの考えを論じなさい。

問題は以上です。